

岩手医科大学歯学談話会記録

第1回～第71回

この記録は1971年11月に第50回までの記録が小冊子になったものを再録し、さらに51回以降のものを追加したものである。第48回以降の幹事は次の通りである。

- 昭和46年7月～47年6月 齋藤泰一, 石川富士郎(第48回～56回)
 47年7月～48年7月 亀田 務, 甘利英一(推計学の講習会)
 48年8月～49年6月 齋藤泰一, 工藤啓吾(第57回～第64回)
 49年7月～50年6月 川崎裕也, 中嶋 武(第65回～第70回)
 50年7月より 高江洲義矩, 関山三郎(第71回より)

発刊に当り

このたび、齋藤、石川両教授の御尽力により岩手医科大学歯学談話会記録が発刊の運びとなったことは、歯学部にとって誠に意義深く、また喜ばしい限りであります。

本学歯学部が発足して、先ず学内で自分達の臨床や研究の中で発表し討議し合って、相互に知識の交換をしようということで自主的に始まった歯学談話会が、もう50回を迎えたことに深い感慨を覚えます。

同じ歯学の中にあって、専門を異にし、環境を異にして我々が一堂に会して共通の話題で話し合うのは、知識の交換のみならず、人間そのものの触れ合いを深めた点で、この歯学談話会の果してきた役割は非常に貴重なものであったと申せましょう。

この1頁1頁に記された記録は、そのまま歯学部6年間の歴史であります。

これまで中断、中絶することなく、順調に進んできたことは、学部全体でこれを支えてきたことは勿論ですが、特に御多忙の中を、この会の中心となって御活躍下さった歴代幹事の諸先生方の御努力の賜であり、ここに深く感謝申し上げる次第であります。

本談話会が、益々発展し、将来何らかの形で学会へ飛躍する日を待ち望んでいます。

発刊に当り所感を述べて御挨拶とします。

昭和46年11月

歯学部長 柳 沢 融

歯学談話会のあゆみ

昭和40年4月に歯学部が発足し、同年7月には新しい歯学部附属病院で各科の診療が開始された。その時点で診療科相互が連繫を保ち、すこしでも各科が協力して日常の臨床をすすめていくためには、何らかの勉強会をもちたいものとの声があり、昭和41年4月から臨床歯学談話会が生まれた。毎月第3金曜日の夕方から各科が当番で各科が話題を提起して、フリーにデスクッションをすることとしたのが本歯学会の始まりであった。

その後、1カ年半の集会后単に臨床系のものだけでなく、基礎系の方にも参加していただくということとなり、第14回の例会(昭和42年6月)からは、基礎、臨床から各1題づつ演題を提出していただき、毎月交代の当番制から年間を通じた世話人(幹事)を設けて集会を開くことになった。第21回(昭和43年7月)からは演題を公募することになり、毎回数題づつ寄せられて、そのテーマについて活発な意見が出されている。第25回(昭和43年12月)は討論会形式で行なわれた。第48回(昭和46年7月)から年間スケジュールをたて、演題の一般公募だけでなく、特別講演や、シンポジウム、或はテレビ歯学講座(16%映画)の視聴とそれによるデスクッションなどを予定して行うことにした。

本談話会に参加される方々は単に歯学部籍におくものだけでなく、現在は医学部の方々や地元の歯科医師会の方々や、学生も出席して討論に加わって下さっている。第50回の談話会の例会を記念して、集会記録を作成することにしたが、今日まで談話会があゆむことができたことは、本会に参加された方々の協力とともに、この会のお世話を下さった幹事の方々ー第1回から第12回までの懸田利孝教授(補綴科)、第13回から第20回までの沢木新教授(補綴科)、鈴木鍾美教授(口腔病理)、第21回から第28回までの富沢万之助

教授(口腔微生物), 石橋真澄教授(保存科), 第29回から第37回までの高下弘夫教授(口腔生理), 大橋靖教授(口腔外科), 第38回から第47回までの藤岡幸雄教授(口腔外科), 思田千爾教授(口腔解剖)のご協力が多々あると思う。

さらに本会の発展を祈ってやまない。

第48回からの幹事

齋藤泰一(薬理)
石川富士郎(矯正科)

第1回 41. 4. 15

本学外来患者の趨勢

石橋真澄 和田勝夫
本谷昭 山崎守義(保存科)

第2回 41. 5. 20

合成樹脂性印象材を応用した動的印象法について

中嶋武 西郷典安
大沢憲二 (補綴科)

第3回 41. 6. 17

兔唇, 口蓋裂患者の矯正学的観察(症例提示)と今後この種症例に対しての歯科診療計画への提案

石川富士郎 遠藤孝
亀谷哲也 (矯正科)

第4回 41. 7. 15

小児歯科外来患者の実態について

甘利英一 両川辰雄(小児歯科)

第5回 41. 9. 30

歯槽骨骨梁のX線学的観察(1) Condensing Ostitis について

柳沢融 吉田和彦
(歯科放射線科)

第6回 41. 10. 28

歯の自家移植臨床成績

工藤啓吾(口腔外科)

第7回 41. 11. 25

根管治療の予後について(2, 3の症例検討)

石橋真澄 和田勝夫
八幡昌介 本谷昭

照井保之 山崎守義(保存科)

第8回 41. 12. 16

即時義歯の問題点について

沢木新 懸田利孝
中嶋武 西郷典安
大沢憲二 (補綴科)

第9回 42. 1. 20

歯科臨床における頭部X線規格写真法について

石川富士郎(矯正科)

第10回 42. 2. 17

乳歯ウ蝕と乳歯の歯質一特にエナメル質について

甘利英一 宮城隆司
佐藤久美子 両川辰雄(小児歯科)

第11回 42. 3. 24

歯科パノラマ撮影法

柳沢融
(歯科放射線科)

第12回 42. 4. 28

兔唇, 口蓋裂児の言語治療方法について

佐藤久美子(小児歯科)

第13回 42. 5. 17

歯の長さについて

恩田千爾(口腔解剖)

顎骨移植の研究について

中村平蔵(口腔外科)

第14回 42. 6. 23

1. 診療室における小児の状態について

甘利英一(小児歯科)

2. Streptococcus s. b. e. について

富沢万之助
(口腔微生物)

第15回 42. 7. 21

1. 下顎骨歯槽部の骨形成について

鈴木和夫 大門建夫(口腔組織)

2. 岩手県僻地の児童生徒の歯科検診ならびに体位, 口腔衛生意識の調査について

和田勝夫(保存科)

第 16 回 42. 9. 22

1. 唾液の分泌について
高下弘夫 (口腔生理)
2. 最近に経験した比較的珍しい数症例について
藤岡幸雄 (口腔外科)

第 17 回 42. 10. 27

1. 唾液腺のグロブロテインの特徴
川崎裕也 (生 化 学)
2. 最近の補綴臨床例から
イ) Dolder アタッチメントの改良例について
ロ) 緩圧二重義歯について
ハ) 開口障害の治療法としての前歯部の二重義歯について
懸田利孝 (補 綴 科)

第 18 回 42. 11. 17

1. 自己免疫疾患と口腔疾患との関連について
——ある一つのスペキュレーション——
斎藤泰一 佐藤敏彦 (薬 理)
2. 顎骨疾患の X 線診断
柳沢 融
(歯科放射線科)

第 19 回 42. 12. 15

1. 歯科材料の動力学的試験について (応用アクリル樹脂の疲労試験)
亀田 務 松岡 保 (歯科理工)
2. 当地域における矯正臨床の実態について
石川富士郎 (矯 正 科)

第 20 回 43. 1. 19

1. 唾液腺腫瘍の実験的発生について
鈴木鍾美 中嶋 武 (口腔病理)
2. 近代の補綴医療について
沢木 新 (補 綴 科)

第 21 回 43. 7. 19

1. 根管開放時の根管内細菌相の変化 (予報)
本谷 昭 高野和子 (保 存 科)
2. 歯の移植について
中山栄雄 (口腔外科)
3. 緑色連鎖球菌に関する研究
富沢万之助
(口腔微生物)

第 22 回 43. 9. 20

1. 骨内嵌植義歯の実験的研究 第 1 報 直後嵌植法について
中嶋 武 西郷典安
大沢憲三 (補 綴 科)
2. 床用メタアクリル樹脂の曲げ強さ
亀田 務 (歯科理工)

第 23 回 43. 10. 18

1. 歯周病の免疫学的研究 第 2 報 歯槽膿漏症をともなった妊婦血清の免疫電気泳動について
佐藤敏彦 (薬 理)
2. 気候要素変化並びに不連続線通過と歯病発作の関係について
和田勝夫 (保 存 科)
3. グリシン生合成の新反応について
川崎裕也 (生 化 学)

第 24 回 43. 11. 15

1. 家族的にみられた Dysostosis cleidocranialis (鎖骨頭異骨症) の矯正学的観察
遠藤 孝 石川富士郎
亀谷哲也 (矯 正 科)
柳沢 融 (歯科放射線科)
2. 最近 3 年間の一般細菌検査および感受性検査の成績について
小川邦明 中里紘一 (口腔外科)

第 25 回 43. 12. 20

- 初期齲蝕について (討論会形式)
- | | |
|----------|------------------|
| 生化学的立場から | 川崎裕也 (生 化 学) |
| 病理学的立場から | 鈴木鍾美 (口腔病理) |
| 細菌学的立場から | 富沢万之助
(口腔微生物) |
| 臨床的立場から | 石橋真澄 (保 存 科) |

第 26 回 44. 1. 24

1. 甲状腺の腮胞形成と分泌機能について
鈴木和夫 大門建夫 (口腔組織)
2. 歯の根面にみられる小孔について
恩田千爾 (口腔解剖)

第 27 回 44. 2. 21

1. 口腔粘膜の神経終末について
小笠原佑吉 藤岡幸雄 (口腔外科)

2. 窩洞の窩縁形態に関する研究 (アマルガム窩洞について)

照井保之 (保存科)

第 28 回 44. 5. 30

1. 歯の発育葉

恩田千爾 (口腔解剖)

2. 最近に経験した三叉神経痛の臨床成績について

工藤啓吾 玉木功一

本間隆義 (口腔外科)

第 29 回 44. 6. 20

1. 電子顕微鏡像の読みかた

鈴木和夫 (口腔組織)

2. ヒト胎児大口腔腺の電子顕微鏡的観察

立花民子 (口腔組織)

3. 欧米の口腔衛生教育をみて

森本 基 (口腔衛生)

第 30 回 44. 7. 18

1. 口蓋裂患者の言語障害とその治療

——特にスピーチエイドについて——

大橋 靖 (口腔外科)

2. 臨床薬理学の一分野

——薬効の判定について——

斎藤泰一 (薬理)

第 31 回 44. 9. 19

1. 岩手県における P T C 味盲について

伊藤克之 早乙女容子

鈴木伸六 大沢憲二

西郷典安 高下弘夫 (口腔生理)

2. 本学附属病院外来患者の P T C 味盲について

高下弘夫 大沢憲二

早乙女容子 伊藤克之

武田武美 岡田宗二 (口腔生理)

3. 下顎智歯萌出角度に関する X 線学的考察

中里紘一 小川邦明

大橋 靖 藤岡幸雄 (口腔外科)

柳沢 融 (歯科放射線科)

4. 非平行性の有髄歯支台に対する新考案の懸田式 Telescopic attachment とその臨床例について

中嶋 武 大沢憲二

笹屋起久味 (補綴科)

第 32 回 44. 10. 17

1. 岩手県における P T C 味盲について (II) 特に平石町, 紫波町および山田町居住者について

早乙女容子 大沢憲二

伊藤克之 (口腔生理)

2. 下顎骨周囲結紮法による小児下顎骨骨折の 2 治験例

青村修明 大橋 靖 (口腔外科)

3. 斜位頭部 X 線規格写真による歯の位置に関する研究, 特に小白歯, 大白歯について

亀谷哲也 (矯正科)

第 33 回 44. 11. 21

1. 咬合力の一測定法について

大泉貞治 (歯科理工)

2. 口腔正常上皮および悪性腫瘍組織のオートラジオグラフィによる研究

関山三郎 (口腔外科)

第 34 回 44. 12. 19

1. インレー合着力に関する研究

照井保之 (保存科)

2. ラッセ攪胆汁の分泌についての研究 (特に固有胆汁, 刺激胆汁量について)

伊藤克之 早乙女容子

高下弘夫 (口腔生理)

3. 陶材の色調と色差について (その 1)

懸田利孝 梅原正年

中嶋 武 大沢憲二

笹屋起久味 (補綴科)

第 35 回 45. 1. 16

1. 遺伝的エナメル質減形成の一家系

照井保之 (保存科)

甘利英一 (小児歯科)

2. 抗炎症剤の薬理

斎藤泰一 (薬理)

第 36 回 45. 2. 20

1. フラスコランプの改良について

咲山久子 (歯科理工)

2. 床用メタクリル樹脂のクリープ特性について

市丸俊夫 (歯科理工)

第 37 回 45. 5. 15

1. 放射線骨障害について

柳沢 融

(歯科放射線科)

2. ニューヨークでの研究と想出
猪股孝四郎 (口腔生理)
3. 歯学談話会一年をかえりみて
高下弘夫 (口腔生理)
大橋 靖 (口腔外科)

第 38 回 45. 6. 19

1. 小児にみられた歯系腫瘍の 3 例
関山三郎 玉木功一
大橋 靖 藤岡幸雄 (口腔外科)
鈴木鍾美 (口腔病理)
2. 口腔粘膜の微細構造
鈴木和夫 (口腔組織)
3. 歯周疾患について
和田勝夫 (保存科)

第 39 回 45. 7. 17

1. 抜歯後の歯周組織の変化について その 1 隣在歯歯肉縁の経日的変化
陳 仁敏 大沢憲二
懸田利孝 (補綴科)
2. 抜歯後の歯周組織の変化について その 2 抜歯窩の結合組織
陳仁 敏 中嶋 武
懸田利孝 (補綴科)
鈴木和夫 (口腔組織)
3. 全身性疾患と歯周組織——実験的脂質代謝異常の見地から——
上野和之 (保存科)
4. Thyrocalcitonin の骨に及ぼす作用について
鈴木鍾美 (口腔病理)
阿部 実 岡野郁二三
(医学部第 1 外科)

第 40 回 45. 9. 18

1. 下顎前突の治療指針
石川富士郎 遠藤 孝
亀谷哲也 国武和春 (矯正科)
2. 歯髓炎の保存療法について (その研究の現状)
石橋真澄 (保存科)

第 41 回 45. 10. 30

1. 上顎歯肉部にみられた黄色肉芽腫の 1 例
本間隆義 (口腔外科)

2. 歯周疾患評価に関する一考察
上野和之 (保存科)
3. 歯周疾患におけるブラッシングの効果について
上野和之 (保存科)
4. 下顎第 2 小臼歯の 2 根とこう徴
恩田千爾 (口腔解剖)
遠藤 甫 森 雄一 (歯学生)

第 42 回 45. 11. 20

1. スピーチエイド適応症についての診断学的研究
その 1 側面頭部 X 線規格写真計測
玉木功一 大橋 靖 (口腔外科)
2. Str. sanguis type II の類似菌について
富沢万之助 平田佳子
本田寿子 (口腔微生物)

第 43 回 45. 12. 18

1. 歯牙萌出時の歯肉粘膜上皮の変化について
小林勝代 甘利英一 (小児歯科)
鈴木和夫 (口腔組織)
2. 一般集団における下顎前突の形態学的研究
遠藤 孝 亀谷哲也
国武和春 石川富士郎 (矯正科)

第 44 回 46. 1. 22

1. 歯学部長年頭の挨拶
沢木 新
2. 下顎部における自家腸骨移植の実験的研究, 特に幼犬と成犬との比較について
工藤啓吾 (口腔外科)
3. 第 6 回アジア太平洋歯科連盟会議に出席して
斎藤泰一 佐藤敏彦 (薬 理)

第 45 回 46. 2. 19

1. 口腔カンジダ症の 2 例
小川邦明 (口腔外科)
2. ペンライターによる音声の一記録方法
猪股孝四郎 伊藤克之
高下弘夫 (口腔生理)

第 46 回 46. 5. 21

1. アマルガムの寸法変化に対する測定荷量の影響
桂 啓文 亀田 務 (歯科理工)
2. 術後性頬部嚢胞の臨床的観察
工藤啓吾 藤岡幸雄

大橋 靖 関山三郎
小川邦明 本間隆義 (口腔外科)

第 47 回 46. 6. 25

1. 妊娠と歯周疾患
松丸健三郎 (保存科)
2. X線写真による抜歯創骨性治療経過の診断
茂木健司 (口腔外科)

第 48 回 46. 7. 16

1. 顔面における運動及び知覚麻痺
加藤政孝
(歯学部内科)
2. 第71回全米矯正歯科学会総会に出席して
石川富士郎 (矯正科)

第 49 回 46. 9. 17

1. 歯周疾患の統計的観察——主訴からみた患者の実態について——
佐々木隆博 鈴木英夫
松丸健三郎 (保存科)
2. 歯周疾患患者における歯肉補綴物の適用について
遠藤 甫 河俣良文
松丸健三郎 上野和之 (保存科)
3. 輸液療法
川村隆夫
(歯学部外科)

第 50 回 46. 10. 15

- テレビ歯学講座 (16%映画) 視聴とそれによるデスクッション
司会 石川富士郎 (矯正科)
- 顎関節症の特集
顎関節症の基礎 河村洋二郎 (大阪大歯教授)
顎関節症の診断 小土肥信良 (日本大歯教授)
顎関節症の治療 大森清弘 (東京歯大助教授)

第 51 回 46. 11. 19

- 特別講演「言語と人間の情報処理機能」
佐々木達夫 (岩手大学)

第 52 回 46. 12. 17

1. 歯牙未完成自家移植 5年経過症例についての歯科学的研究
工藤啓吾 藤岡幸雄

大橋 靖 関 重道
平賀三嗣 柴田輝郎
吉田正孝 (口腔外科)

2. 16%映画とデモストレーション
アダプティク (コンポジットタイプ充填材) の特徴とその使用方法
MOD窩洞充填のシンポジウム (シカゴ大学アンブロー教授による)
デンタルサージカル・ユニット (3K-100) の使用方法

三金工業KK 提供

第 53 回 47. 1. 21

- テーマ: 水平位診療とそのすすめ方について
1. 本学における水平位診療の導入について
沢木 新 (補綴科)
 2. 水平位診療とその設備について・オートスライド
供覧
 3. 各科診療の立場からの水平位診療について
石橋真澄 (保存科)
沢木 新 (補綴科)
藤岡幸雄 大橋 靖 (口腔外科)
石川富士郎 (矯正科)
甘利英一 (小児歯科)

第 54 回 47. 2. 17

1. 記念講演 私の蒐めた異常歯
恩田千爾 (口腔解剖)
2. 根管治療の予後について
八幡昌介 (保存科)
発言 鈴木鍾美 (口腔病理)
上野和之 (歯周科)
佐藤敏彦 (歯科薬理)
まとめ 石橋真澄 (保存科)

第 55 回 47. 5. 19

- セミナー: 抜歯の適応について
司会 斎藤泰一
1. 口腔外科における抜歯の適応と抜歯創の治療経過について
茂木健司 (口腔外科)
 2. 補綴的にみた抜歯の適応症
大沢憲二 (補綴科)
 3. 保存治療はどこまで可能か
石橋真澄 (保存科)

4. X線写真からみた抜歯の可否の判定
柳沢 融
(歯科放射線科)

第 56 回 47. 6. 16

1. 免疫中核の構造と機能
——扁桃・胸腺・虫垂・ファブリキウス嚢を中心——

高木知道 (口腔組織)

2. 歯齦の結合組織線維ならびに血管の変動
野坂洋一郎 (口腔解剖)

3. 歯学談話会一年をかえりみて
齋藤泰一 (薬 理)
石川富士郎 (矯正科)

講習会 (47. 11~48. 4, 5 回)
推計学 一戸孝七 (教養部数学科)

第 57 回 48. 9. 20

1. 第 2 回国際歯科会議 (バルセロナ) に出席して
齋藤泰一 (歯科薬理)

2. 無糸核分裂について
尾持昌次
(口腔解剖 II)

第 58 回 48. 10. 19

1. 第 3 回国際歯科矯正学会議 (ロンドン) に出席して
石川富士郎 (矯正科)

2. 視覚情報伝達のメカニズム
鈴木 隆 (口腔生理)

第 59 回 48. 11. 30

歯周疾患特集
司会 齋藤泰一 (薬 理)

1. 歯周疾患の診断
上野和之 (保存科 II)

2. 治療とメンテナンス
菅原教修 (保存科 II)

追加発言

1. 歯周疾患に対する補綴処置の限界
大沢憲二
(補綴科 I・II)

2. 歯周疾患で抜歯した後の治療経過
茂木健司
(口腔外科 II)

3. 不正咬合と歯周疾患

石川富士郎 (矯正科)

4. 乳歯歯周疾患の治験例
甘利英一 (小児歯科)

第 60 回 48. 12. 21

テーマ: 所謂「一貫教育」について

1. 話のいとぐち

鈴木鍾美

歯学部カリキュラム委員長

2. 自由討論

第 61 回 49. 1. 25

自由討論

テーマ: 卒業後教育に関して

司会 齋藤泰一 (薬 理)

第 62 回 49. 4. 19

1. 舌管腫, 倭小歯, 開咬並びに広汎な歯石沈着症などを伴った 1 例について

吉田正孝 工藤啓吾

藤岡幸雄 (口腔外科 I)

松丸健三郎 (保存科 II)

亀谷哲也 (矯正科)

鈴木鍾美 (口腔病理)

2. 重複癌の 3 例について

鈴木鍾美 阿部節子 (口腔病理)

藤岡幸雄 工藤啓吾

(口腔外科 I)

関山三郎 小守林尚之

(口腔外科 II)

柳沢 融 松枝恭俊

高橋 寛 (歯科放射線科)

3. 歯周疾患患者歯肉のマスト細胞について

油井孝雄 菅原教修

近藤秀男 上野和之 (保存科 II)

4. 走査型電子顕微鏡——硬組織および軟組織の場合

野坂洋一郎

(口腔解剖 I)

高木知道

(口腔解剖 II)

第 63 回 49. 5. 17

1. エナメル表層の化学

——特に口腔衛生の立場から——

高江洲義矩 (口腔衛生)

2. 歯学会の創設に関して

岩手医大歯学会設立委員会

第 64 回 49. 6. 14

走査型電子顕微鏡 X線アナライザーについて
——アマルガムの分析を中心にして——

市丸俊夫 (歯科理工)

第 65 回 49. 7. 25

新学長を囲む談話会 三田俊定 (学 長)

第 66 回 49. 9. 19

1. 口腔リンパ組織の発生: ウサギ口蓋扁桃の走査型
電子顕微鏡による観察齋藤 博 安蘇規子
高木知道 (口腔解剖Ⅱ)2. Amyloidosis を伴った median rhomboid glos-
sitis の 1 例阿部節子 鈴木鍾美
山岡 豊 (口腔病理)
平賀三嗣 (口腔外科Ⅰ)

3. Str. sanguis について

富沢万之助 本田寿子
田近志保子 平田佳子
(口腔微生物)

4. 歯冠側壁と歯周組織形態の関連について

伊藤一三 野坂洋一郎
(口腔解剖Ⅰ)5. 口腔組織, 特に歯肉のインピーダンス変化につ
いて八幡文和 平 孝清
松本範雄 鈴木 隆 (口腔生理)6. 視覚領18野単一ニューロンの興奮性に及ぼす歯髓
刺激の影響鈴木 隆 布川茂樹
八幡文和 平 孝清 (口腔生理)

7. 混合唾液画分中のアミノ酸組成について

武者良憲 (ライオン歯磨・基研)
高江洲義矩 (口腔衛生)

第 67 回 49. 10. 25

1. 口腔外科領域の全身麻酔下手術

平賀三嗣
(口腔外科Ⅰ)

2. 障害児の口腔管理 特にC・P児の刷掃指導につ

いて

金子信一郎 (小児歯科)

第 68 回 50. 3. 28

1. 北津軽地方における斑状歯発生の背景
——とくに飲料水中化学成分について

松田和弘 (口腔衛生)

2. ヒト口腔粘膜の走査電顕による観察
——歯肉について藤田 進 小島 誠
関山三郎 (口腔外科Ⅱ)3. 口腔粘膜および皮膚の発生にともなう表層変化
——走査型電子顕微鏡による観察安蘇規子 斎藤 博
高木知道 (口腔解剖Ⅱ)特別講演「視覚領17野ニューロンの興奮性に及ぼす歯
髓情報の影響」

鈴木 隆 (口腔生理)

第 69 回 50. 5. 30

特別講演「口腔癌の療法と予後に関する研究」

関山三郎
(口腔外科Ⅱ)

第 70 回 50. 6. 27

1. 抜歯後出血をきたした真性赤血球増多症を疑わせ
た一例大淵義孝 関山三郎
森 豊 小島 誠
(口腔外科Ⅱ)2. Str. sanguis II およびその類似菌について 特
に外国株と教室保存株の比較富沢万之助 平田佳子
(口腔微生物)3. ウサギおよび犬に多い疾患の予防と治療法につ
いて

吉田 照 (歯科薬理)

4. 走査型電子顕微鏡の利用による歯牙の構造

高木知道 安蘇規子
斎藤 博 (口腔解剖Ⅱ)

第 71 回 50. 9. 12

1. 培養した重層扁平上皮の構造変化について

安蘇規子 斎藤 博
高木知道 (口腔解剖Ⅱ)

2. 松尾村における乳歯う蝕の罹患状況と歯科保健活動について

原田 潮 飯島洋一
高江洲義矩 (口腔衛生)

3. 抑制矯正 (interceptive orthodontics) について
——症例を提示して——

田中 誠 伊藤 修
水野利恭 三条 勲

石川富士郎 (矯正科)

4. Dysostosis cleidocranialis の 1 例

鈴木有一 小守林尚之
関山三郎 (口腔外科Ⅱ)
柳沢 融 水口 博
(歯科放射線科)
猪苗代盛昭 (補綴科Ⅰ・Ⅱ)